

全ト協

ガソリン・軽油などの燃料価格高騰が続く中、全日本トラック協会(坂本克己会長)は11月9日、国土交通省の齊藤鉄夫大臣に対し、「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」を提出し、業界からの要望書」を提出し、業界の事業経営は悪化の一途を辿っているとして、高騰分の価格転嫁

齊藤国交大臣に対し 軽油高騰対策を要望



齊藤大臣(左から4番目)に要望する全ト協・坂本会長(右隣り)、浅井氏(東ト協会長/右から3番目)など各副会長

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月8日時点で、ガソリン価格(店頭現金小売価格)は1リットル169.0円、軽油価格は同148.8円まで上昇し、10週連続で値上がりした。こうした事態に伴い同日、全ト協の坂本会長をはじめ、浅井隆(東京都トラック協会会長・吉野雅山・田中亨・中川才助・庄子清一各副会長が国交省を訪れ、要望した

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月8日時点で、ガソリン価格(店頭現金小売価格)は1リットル169.0円、軽油価格は同148.8円まで上昇し、10週連続で値上がりした。こうした事態に伴い同日、全ト協の坂本会長をはじめ、浅井隆(東京都トラック協会会長・吉野雅山・田中亨・中川才助・庄子清一各副会長が国交省を訪れ、要望した

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月8日時点で、ガソリン価格(店頭現金小売価格)は1リットル169.0円、軽油価格は同148.8円まで上昇し、10週連続で値上がりした。こうした事態に伴い同日、全ト協の坂本会長をはじめ、浅井隆(東京都トラック協会会長・吉野雅山・田中亨・中川才助・庄子清一各副会長が国交省を訪れ、要望した

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月8日時点で、ガソリン価格(店頭現金小売価格)は1リットル169.0円、軽油価格は同148.8円まで上昇し、10週連続で値上がりした。こうした事態に伴い同日、全ト協の坂本会長をはじめ、浅井隆(東京都トラック協会会長・吉野雅山・田中亨・中川才助・庄子清一各副会長が国交省を訪れ、要望した

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月8日時点で、ガソリン価格(店頭現金小売価格)は1リットル169.0円、軽油価格は同148.8円まで上昇し、10週連続で値上がりした。こうした事態に伴い同日、全ト協の坂本会長をはじめ、浅井隆(東京都トラック協会会長・吉野雅山・田中亨・中川才助・庄子清一各副会長が国交省を訪れ、要望した

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月8日時点で、ガソリン価格(店頭現金小売価格)は1リットル169.0円、軽油価格は同148.8円まで上昇し、10週連続で値上がりした。こうした事態に伴い同日、全ト協の坂本会長をはじめ、浅井隆(東京都トラック協会会長・吉野雅山・田中亨・中川才助・庄子清一各副会長が国交省を訪れ、要望した

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月8日時点で、ガソリン価格(店頭現金小売価格)は1リットル169.0円、軽油価格は同148.8円まで上昇し、10週連続で値上がりした。こうした事態に伴い同日、全ト協の坂本会長をはじめ、浅井隆(東京都トラック協会会長・吉野雅山・田中亨・中川才助・庄子清一各副会長が国交省を訪れ、要望した

高騰分収受へ転嫁対策を 課税停止措置の凍結解除

税や軽油引取税の旧暫定税率分の課税を停止する措置だが、現在、東日本大震災の復興財源確保のため、この措置の発動が凍結されている

税や軽油引取税の旧暫定税率分の課税を停止する措置だが、現在、東日本大震災の復興財源確保のため、この措置の発動が凍結されている

税や軽油引取税の旧暫定税率分の課税を停止する措置だが、現在、東日本大震災の復興財源確保のため、この措置の発動が凍結されている

税や軽油引取税の旧暫定税率分の課税を停止する措置だが、現在、東日本大震災の復興財源確保のため、この措置の発動が凍結されている

税や軽油引取税の旧暫定税率分の課税を停止する措置だが、現在、東日本大震災の復興財源確保のため、この措置の発動が凍結されている

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

東京都トラック協会 要望聴取会に、浅井会長(浅井隆会長)は11月22日、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会の令和4年度「トラック関係施策に関する要望書」と「軽油価格高騰に関するトラック運送業界からの要望書」に加え、東ト協の4年度「東京都への特別要望書」を提出し、特に新型コロナウイルス感染症対策への支援や燃料価格高騰対策を要請した。自民党都連による4年度国家予算・税制改正等

”苦境”克服へ支援策を 軽油高が事業経営を直撃



東ト協 自民党都連に要望

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

引き続き、佐藤副会長が最重要要望事項などについて説明。まずコロナ禍関連では、国税・地方税の納付猶予や固定資産税などの減免措置の継続、法人税や自動車関係諸税の減免措置創設などを要望した。あわせて、コロナ禍で事業者は疲弊しているとして、資金繰り対策をはじめ、雇用調整助成金の維持のための各種助成金の継続などを求めた。また、首都高速道路の車種間

経営危機突破へ 12月2日 総決起大会

全日本トラック協会、東京都トラック協会、千代田区の自由民主党本部(自民党議員対象)、および港区の第一ホテル東京(公明党議員対象)で、全国ハイヤー・タクシードライバー連合会や日本バス協会と合同で「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」を開催する。

軽油価格 148.6円/リットル 高止まりで推移

資源エネルギー庁の石油製品価格調査(週次調査)によると、11月15日時点のレギュラーガソリン店頭現金小売価格は1リットルあたり168.9円で前週比0.1円、軽油は同148.6円と同0.2円それぞれ11週振りに値下がりしたが、引き続き高止まりしている。

紙面あんない

- 2 経産省など、下請取引適正化を要請
3 全ト協、「景況感調査」7~9月期
4 児童絵画コンテスト、入賞者決定
5 東運支局、Gマーク事業所表彰
6 東運支局、Gマーク事業所表彰
7 東運支局、Gマーク事業所表彰

下請取引の適正化を要請 政府挙げて監督体制強化

経産省・公取委
経済産業省と公正取引委員会は11月16日、関係事業者団体(約1400団体)に対し、経産大臣と公取委員長の名義で「下請取引の適正化について」を發出し、親事業者となる会員に周知徹底するよう要請した。

「中小事業者等取引公正化推進アクションプラン」に基づく取り組みを着実に実行し、受注側企業への不当なしわ寄せが生じないように要請した。さらに、下請法に基づく「親事業者の遵守すべき事項」を会員事業者に周知徹底するなど、適切な措置を講じるよう依頼するとともに、親事業者の義務として書面(注文書)の交付などを徹底し、禁止行為として下請代金の支払い遅延や減額、買いたたきなどの違反行為を行わないよう求めた。

このうち、ロードマップ策定に関しては、物流・商流データプラットフォームや水平連携標準化、共同化、垂直統合(B to B to CのSCM)、物流拠点(自動化・機械化)、輸送機器(マルチモーダル・自動化・機械化)の各項目について議論していく方針。

第2次岸田内閣が発足 年内早期に補正予算

衆議院総選挙の結果を受けて11月10日、第2次岸田内閣が発足した。岸田文雄内閣総理大臣は同日の記者会見で、年内の早期に経済対策に伴う補正予算成立を目指す考えを表明した。

また、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、雇用調整助成金の特例措置を来年3月まで延長するとともに、最近のガソリン価格などの高騰を踏まえ、関係業界などに対する支援を行っていくとした。

このほか、デジタル活用を推進するための規制改革に取り組み、次期通常国会に自動運転による自動配送サービスを実現するための法案を提出する方針を示した。

斉藤国交大臣が再任

第2次岸田内閣の発足に伴い、斉藤鉄夫国土交通大臣(衆議院議員・広島3区、公明党)は再任となった。

「中小事業者等取引公正化推進アクションプラン」に基づく取り組みを着実に実行し、受注側企業への不当なしわ寄せが生じないように要請した。さらに、下請法に基づく「親事業者の遵守すべき事項」を会員事業者に周知徹底するなど、適切な措置を講じるよう依頼するとともに、親事業者の義務として書面(注文書)の交付などを徹底し、禁止行為として下請代金の支払い遅延や減額、買いたたきなどの違反行為を行わないよう求めた。

「スーパードライバー等WG」を設置
アクションプラン策定へ

経済産業省と国土交通省は11月2日、第2回「デジタルインターネット実現会議」を開催し、同会議の分科会として「スーパードライバー等WG」の設置を決めた。

デジタルインターネットとは、インターネット通信の考え方を、物流技術や概念を取り入れた物流システムを構築するための、経産省と国交省が10月に共同で同会議を設けた新しい物流の仕組み。企業・業界の垣根を越え

「スーパードライバー等WG」を設置
アクションプラン策定へ

経済産業省と国土交通省は11月2日、第2回「デジタルインターネット実現会議」を開催し、同会議の分科会として「スーパードライバー等WG」の設置を決めた。

デジタルインターネットとは、インターネット通信の考え方を、物流技術や概念を取り入れた物流システムを構築するための、経産省と国交省が10月に共同で同会議を設けた新しい物流の仕組み。企業・業界の垣根を越え

警察庁 大型・中型免許 受験資格見直し

警察庁は、改正道路交
通法(令和2年6月公布)
に伴う大型・中型自動車
免許などの受験資格の見
直しについて、「道路交
通法施行令の一部を改正
する政令案」



改正道路交法の施行日(4年5月13日予定)に合わせ施行する方針。

改正政令案により、大型・中型免許などの受験資格が緩和され、普通免許などを受けていた期間が通算1年以上である場合、一定の教習を修了した者は大型・中型免許などを受験することができるとなった。

2040年に向けたロードマップの策定に取り組み始める。また第2回会議では、デジタルインターネット実現のロードマップやゴールイメージに関する論点について説明。

このうち、ロードマップ策定に関しては、物流・商流データプラットフォームや水平連携標準化、共同化、垂直統合(B to B to CのSCM)、物流拠点(自動化・機械化)、輸送機器(マルチモーダル・自動化・機械化)の各項目について議論していく方針。

省エネ対策会議
冬季キャンペーン

3月までの省エネキャンペーンを実施し、関係各方面において省エネの取り組みを推進するよう呼びかけている。

運輸関係の取り組みとしては、省エネ法に基づき、旅客・貨物輸送事業者および荷主において適切なエネルギー管理を実施するとともに、エネルギー消費効率の良い輸送機関を選択することや、エコドライブを実践することなど。

省エネ対策会議
冬季キャンペーン

3月までの省エネキャンペーンを実施し、関係各方面において省エネの取り組みを推進するよう呼びかけている。

運輸関係の取り組みとしては、省エネ法に基づき、旅客・貨物輸送事業者および荷主において適切なエネルギー管理を実施するとともに、エネルギー消費効率の良い輸送機関を選択することや、エコドライブを実践することなど。

輸配送の共同化など効率化を

このうち、エネルギー効率の良い輸送機関の選択では、環境性能に優れた自動車(エコカー)の導入に努めることや、貨物輸送に際して輸配送の共同化による積載効率向上など、物流の効率化を図るよう求めている。

東京都トラック協会会員様向け!

近年、大規模化する自然災害。
今だからこそ企業としての備えを万全に!!

●吉野家「缶飯」
ご飯と具が一緒になった
防災備蓄缶詰

震災 豪雨 豪雪

特別価格で
ご提供します!

●尾西食品の非常用備蓄品(5年保存)

CoCo 吉カレーセット、携帯おにぎり
ひだまりパン他

◇12月1日は防災用品点検の日

●非常用防災セット

Aセット 12品目 2,200円(税込・送料別途※)
Bセット 15品目 3,300円(税込・送料別途※)
・ご注文は4個から承ります ※納品場所等ご相談

日本自動車ターミナル(株)グループ **株式会社ターミナルサービス** Terminal Service Co., Ltd.

☆内容・価格等については、お気軽にお問い合わせください。
業務部 北田・小川 TEL 03-5493-8085

運輸 点描

政府は、新「総合物流施策大綱」(6月に閣議決定)を策定した直後に「官民物流標準化懇談会」を発足させ、まずパレットの標準化に着手するため、9月に「パレット標準化推進分科会」を立ち上げた。パレット化による機械荷役と、標準化されたパレットの利用拡大を目指す狙いがある。その中で大きなテーマになるのが、パレットサイズの規格化だ。しかし、サイズの統一は過去にも試みられたが、一筋縄ではいかず、実現していない。

パレット標準化はできるか

パレット標準化推進分科会は、第1段階として国内外のパレット標準化のための方策を検討する。パレットサイズは、1970年に一貫輸送用パレットとして11型(1100×1100ミリ)がJIS規格化された。その上で、トラック運転者などに対する時間外労働上限規制が適用される「2024年問題」を見据えて、まず幹線輸送で最も使用されているパレットを対象に、どのサイズ・仕様を標準規格にふさわしいかを検討する。あわせて、パレットの運用方法(循環・回収・廃棄のルールづくり)を検討・実証する。

このままを1〜2年かけて行い、その後は取れたサイズや仕様、循環の仕組みを広げていくための方策を検討する。パレットサイズは、1970年に一貫輸送用パレットとして11型(1100×1100ミリ)がJIS規格化された。ただ、実態は数多くのサイズが流通していたため、1990年代にユーロパレット(1200×800ミリ)および1200×1000ミリを含む7種類を推奨する動きがあつたが、なかなか集約できなかった。

その後、アジア・パレットシステム連盟の発足を機に、2012年に11型と12型(1200×1000ミリ)をアジア

過去に試みられたが実現せず 運用を考慮して11型に統一を

共通の規格パレットに定め、12型は2020年にJISのユニットロード通則として追加された。各国の状況を見ると、欧州はユーロパレット、

オーストラリアは116400×1100ミリが5×1165ミリ、中国意外と多いが、11型が圧倒的であることが分かる。10年ほど前、11型と12型、韓国は11型が比較の普及しているが、オーストラリアの普及率90%を除き、各国ともこれ以外のサイズのものがかなり存在している。

国内ではどのサイズのパレットが使用されているのか。統計はないが、レンタルパレットの保有数でおおよそつかむことができる。平パレットの場合、木製(全保有数約548万枚)で11型が49.6%、1400×1000ミリが33.9%、1300×1100ミリが8.0%。プラスチック製(同約175万枚)で11型が81.2%、1400×1100ミリが10.5%などだ。米や石油化学品に使用される1

400×1100ミリが意外と多いが、11型が圧倒的であることが分かる。10年ほど前、11型と12型、韓国は11型が比較の普及しているが、オーストラリアの普及率90%を除き、各国ともこれ以外のサイズのものがかなり存在している。

国内ではどのサイズのパレットが使用されているのか。統計はないが、レンタルパレットの保有数でおおよそつかむことができる。平パレットの場合、木製(全保有数約548万枚)で11型が49.6%、1400×1000ミリが33.9%、1300×1100ミリが8.0%。プラスチック製(同約175万枚)で11型が81.2%、1400×1100ミリが10.5%などだ。米や石油化学品に使用される1

労働力不足を少しでも解消するには、まずパレット化することが最も重要なこと。パレットの循環や回収などの仕組み、使用する包装資材や輸送機器など運用面を考慮すれば、推奨するパレットのサイズは少なれば少ないほど良い。であれば、標準規格とするのは最も普及している11型1種類で良いのではないか。

何も欧州や中国に気兼ねして、国内で普及していないユーロパレットや12型を対象とする必要はないし、9型は使用が限られており、例外とすれば良いだけのこと。1種類に限定すれば、最も頭を悩ます問題となっていないパレットの紛失も減らせるのではないか。

(ライター 澤田誠)

景況感調査 7〜9月期



全日本トラック協会は11月12日、第115回「トラック運送業界の景況感」調査結果(7〜9月期、速報)を公表した。それによると、新型コロナウイルス感染症の沈静化に伴う経済活動の再開により、貨物輸送量は回復基調だが、燃料価格上昇に伴うコスト増加が影響し、景況感の判断指標は▲(マイナス)28.7と前回調査(4〜6月期)と前回調査(4〜6月期)に比べて6.1ポイント悪化した(以下、指標の動向は前回比)。

輸送量の回復により、実働率は▲10.0で1.0、実車率は▲3.7で6.6ポイントそれぞれ上昇。ただし、経常損益は▲32.7で12.9ポイント悪化した。業種別にみると、一般貨物では輸送数量が▲6.4で1.7ポイント水準を上げ、運賃・料金は▲9.9で4.4ポイント改善。ただし、営業収入は8.9で3.5ポイント悪化した。燃料高で景況悪化に準を下げ、

営業利益は▲27.0で6.5ポイント悪化した。宅配貨物では、輸送数量が26.1で37.1ポイント悪化した。運賃・料金は13.0で7.7ポイント改善し、営業収入は30.4で30.4ポイント改善。景況感の指標が▲25.1で今回調査比3.5ポイント改善の見込み(以下、指標の動向は今回比)。実働率は▲9.2で0.8ポイント水準を上げるが、実車率は▲7.4で3.7ポイント悪化する見込み。経常損益は▲31.1で1.6ポイント改善の見込み。

業種別にみると、一般貨物は輸送数量が▲7.0で0.6ポイント水準を下げるが、運賃・料金は▲8.0で1.9ポイント改善する見込み。ただし、営業収入は2.9ポイント向上見込み。

▲7.8で4.3ポイント悪化した。営業利益も0.0まで低下し、46.8ポイント大幅悪化となった。業界全体の今後の見通しは、景況感の指標が▲25.1で今回調査比3.5ポイント改善の見込み(以下、指標の動向は今回比)。実働率は▲9.2で0.8ポイント水準を上げるが、実車率は▲7.4で3.7ポイント悪化する見込み。経常損益は▲31.1で1.6ポイント改善の見込み。

業種別にみると、一般貨物は輸送数量が▲7.0で0.6ポイント水準を下げるが、運賃・料金は▲8.0で1.9ポイント改善する見込み。ただし、営業収入は2.9ポイント向上見込み。

運輸防災セミナー

国土交通省 初の認定

国土交通省はこのほど、運輸安全マネジメント制度の浸透・定着に有効なセミナーとして、自効なセミナーとして、自動車事故対策機構(NASVA)が申請していた防災マネジメントセミナーを認定した。今回が認定第1号。

同省は、気候変動の影響により激甚化・頻発化していることを受けて、総力戦で挑む防災・減災プロジェクトの推進を促す。セミナーの主な講義内容は、運輸防災マネジメント指針の概要をはじめ、自社の防災体制のチェック(チェックリスト)や災害リスク評価(ワイヤークシヨップ)など。パワー

環境政策や目標 紹介冊子を作成

東京都はこのほど、環境先進都市・東京に向けて「CREATING A SUSTAINABLE CITY」を作成した。「ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report」の概要や目標・取り組みなどを紹介したもので、都は「2050年CO2排出実質ゼロ」の実現に向けて、2030年に都内温室効果ガス排出量50%削減を目指している。詳細は、都環境局ホームページを参照。

「トラックデータ集」各種統計資料を収録

全日本トラック協会は、このほど、令和3年「トラックデータ集」を作成した。トラック輸送データの集積として、13%を占め横ばい

国土交通省がまとめた「新型コロナウイルス感染症による関係業界への影響調査」結果によると、貨物自動車運送業(トラック運送業)では、10月の運送収入が前年同月比20%以上減少の事業者割合は、前月と同じ全体の13%と横ばいだった。品目別にみると、引き続き生産活動の停滞などの影響により、鉄鋼厚板などが前年同月比13%、完成自動車などが同11%のそれぞれ減収。今後の見通しについては、11月は運送収入20%以上減少の割合が16%に増加するが、12月は再び13%に戻す見込み。

国土交通省 感染症影響調査(10月)

国土交通省がまとめた「新型コロナウイルス感染症による関係業界への影響調査」結果によると、貨物自動車運送業(トラック運送業)では、10月の運送収入が前年同月比20%以上減少の事業者割合は、前月と同じ全体の13%と横ばいだった。品目別にみると、引き続き生産活動の停滞などの影響により、鉄鋼厚板などが前年同月比13%、完成自動車などが同11%のそれぞれ減収。今後の見通しについては、11月は運送収入20%以上減少の割合が16%に増加するが、12月は再び13%に戻す見込み。

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックアイカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当・青木)
板橋(営) 03-5916-3557 (担当・倉持)
ホームページ <http://www.setagaya-yss.co.jp>
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

第22期物流経営士課程

開講式

東ト協 東京都トラック協会は11月10日、東ト総合会館で第22期物流経営士課程の開講式を開催した。今後、令和4年7月までの9か月間にわたり、経済情勢の変化や競争に耐え得る経営体質の構築などに向けて、必要な経営知識の習得やスキル向上を目指す。



開講式では、浅井隆会長があいさつに立ち、デジタル化や燃料価格高騰など、最近の業界を取り巻く厳しい経営環境や課題について触れ、「時代に合ったサービスを提供し、利用者ニーズに応えることが、社会のライフラインとして重要な役割を果たすことになる」と述べ、受講による学びの意義を強調した。

その上で、同課程では「物流の基本から実践的時代の変化に対応した知識の修得、グループ討議などによるプレゼンテーション能力の向上に力を注いでおり、そのために必要なカリキュラムを組んでいる」とし、所定の課程を修了し「全員が『物流経営士』の資格を取得されることを祈念する」と述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

この後、中田氏が「物流においてこれから求められる課題」をテーマに記念講演を行った。

次代を担う人材27人受講 経営知識・スキル習得へ

同支部では新設の教育研修委員会(井口絵美委員長)と本部環境委員会の武田光宏副委員長を中心に、GEP参加促進への独自の取り組みとして、新たな講習会を検討し、会員アンケートの結果、「具体的な取り組み内容を知らなかった」との回答が多く、これに対応して実施することにした。

同支部では新設の教育研修委員会(井口絵美委員長)と本部環境委員会の武田光宏副委員長を中心に、GEP参加促進への独自の取り組みとして、新たな講習会を検討し、会員アンケートの結果、「具体的な取り組み内容を知らなかった」との回答が多く、これに対応して実施することにした。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

この後、中田氏が「物流においてこれから求められる課題」をテーマに記念講演を行った。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

GEP「杉並方式」講習会

東ト協杉並支部(大高 杉並区)のワイム貸会議室一義支部長は11月9日、荻窪で、新方式となる「グリーン・エコプロジェクト(GEP)講習会」を開催した。



新方式の講習会は「杉並方式」として、本部や各支部で実施しているGEP説明会だけでなく、講習会当日にその場で参加申し込みを行い、引き続き、通常では本部で行う第1回セミナーを受講するもの。

GEPへの参加を促す

同支部では新設の教育研修委員会(井口絵美委員長)と本部環境委員会の武田光宏副委員長を中心に、GEP参加促進への独自の取り組みとして、新たな講習会を検討し、会員アンケートの結果、「具体的な取り組み内容を知らなかった」との回答が多く、これに対応して実施することにした。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

「標準的な運賃」普及へ

東ト協品川支部(中山 品川区)の同支部会議室で、支部会員を対象に「標準的な運賃」勉強会を開催した。同勉強会は「標準的な運賃」の普及に向けて、各支部が個別または



支部会員対象に勉強会

この勉強会では、全ト協の解説動画やパンフレット「今すぐわかる『標準的な運賃』」運賃料金届出書・運賃料金適用方様式集・参考例」を使い、届け出に必要な書類の具

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

このほか、開講式には全日本トラック協会の藤原利雄常務理事や東ト協の竹内政司・森本勝也各副会長が来賓出席した。同日は開講式に続き、受講生がそれぞれ自己紹介を兼ねて受講の動機や抱負などを述べた。

女性部Zoom研修会

各自端末でスキル習得

東ト協女性部(原玲子 本部)は11月12日、東ト総合会館で「Zoom研修会」を開催した。

この研修会では、各自の端末からZoomに接続し、研修内容を確認しながら、講師の指導を受ける。また、無料版・有料版の違い、外出先でモバイル



この研修会では、各自の端末からZoomに接続し、研修内容を確認しながら、講師の指導を受ける。また、無料版・有料版の違い、外出先でモバイル

この研修会では、各自の端末からZoomに接続し、研修内容を確認しながら、講師の指導を受ける。また、無料版・有料版の違い、外出先でモバイル

この研修会では、各自の端末からZoomに接続し、研修内容を確認しながら、講師の指導を受ける。また、無料版・有料版の違い、外出先でモバイル

からだ・メンタルヘルス 電話・Webで健康相談 お気軽にご利用を!

東京都トラック協会は、会員事業者の従業員などを対象に、メンタルヘルス関係を含めた各種健康相談に応じる「24時間電話健康相談」を行っている。24時間・365日年中無休で、利用は無料。

メンタルヘルス関係の相談には心理専門職が相談に応じる(平日午前9時～午後9時)。

電話相談窓口

フリーダイヤル 0120-109-371

あわせて、健康情報に関するWebサイト「健康・こころのオンライン」(https://www.healthy-hotline.com/ログインID=tora)も利用可能。

日程ボード

〔12月1～15日〕

- 1日(木) 10時30分交通 栄善堂緑十字銅章伝達式(東ト総合会館)▼
- 11日(木) 16時11分東京都市算 対する知事ヒアリング(Web併用)
- 2日(木) 15時30分青年 部研修会(東ト総合会館/Web併用)▼
- 3日(金) 9時11分初任運 転者特別講習(東ト総合会館)▼
- 6日(月) 15時11分ロジ 研正副本部長会議(東ト総 合会館/Web併用)
- 7日(火) 13時30分ピラ ン2025目標達成セ ミナー(東ト総合会 館)
- 9日(木) 16時11分ダン プ専 門部会全体会議(東ト 総合会館)
- 10日(金) 16時11分三 組織連 絡会(東ト総合会館/ Web併用)

お悔やみ 申し上げます

中村 悦彌氏(中村桐 包商事代表取締役・葛飾 支部)11月11日に死去。 78歳。通夜は11月18日、 告別式は翌19日、品川区 の桐ヶ谷斎場で社葬によ り執り行なった。喪主は長 男 亮平氏。



児童絵画作品 選考小委が入賞者決定

3年度 最優秀賞は 半澤 弥空さん

(荒川区立尾久西小学校)

東京都トラック協会は11月16日、東ト総合会館で、児童絵画作品コンテスト選考小委員会(Web併用)を開催し、令和3年度コンテストの最終選考を行った結果、最優秀賞(東京運輸支局長賞/1点)は半澤弥空さん(荒川区立尾久西小学校)の作品(写真⑤)に決定した。



選考小委員会

「小さな子供は大きなトラックが好きなもの。その心をもちつつ、大きくなって業界に入ってきてほしい」と述べ、コンテストへの期待を示した。東ト協では毎年、「トラックの日」児童絵画コンテストを実施しており、今年度は新型コロナウイルスの影響が拡大し、その影響が懸念されたが、応募数は598点と前年度の約1.3倍も多い作品の応募があった。このうち学校単位の応募が112校で、前年度の約1.7倍と増加した。コンテストの周知・広報活動については、協会ホームページ(HP)や小学校壁新聞、ラジオCM、スマートフォンアプリなどを活用しPRしたほか、募集チラシを関係各所へ配布するなどの取り組みを展開。特に各支



部の協力により、コロナ禍の中でも応募数が増え成果を上げた。入賞者名などは協会HPやFacebookで発表するとともに、入賞者へ通知。また「トラック時報」新年特集号(4年1月10日号)に、最優秀賞をはじめとした入賞作品を掲載する。

同日の選考小委員会は、広報・情報委員会・鎮目隆雄委員長と、運輸安全委員会(森本勝也委員長)からの選出委員に加え、東ト協の浅井隆会長や東京運輸支局の小濱照彦支局長が臨席し開催。同日は開催に当たり、まず東運支局の小濱支局長があいさつし、「コンテストが子供の励みになり、作品を見たドライバーの皆さんの励みとなることを期待する」と述べた。続いて、浅井会長は

「電子メモパッド」を贈ることになっている。表彰式は新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見合わせるが、文化放送ラジオ番組「くまのジャパンプレ」(4年1月21日放送)に鎮目委員長が出演し、入賞者名の発表やコンテスト実施報告を行うとともに、多数の応募への感謝の言葉を述べた。続いて、浅井会長は

コンテスト入賞者

(品川区立日野学園)

東型配車計画作成ツール(AIアルゴリズム)により、日々の配車計画を自動作成を導入。4か月程度、実証事業を行う予定。

【最優秀賞】

(東京運輸支局長賞)

半澤弥空さん(荒川区立尾久西小学校)

【優秀賞】

(東ト協会長賞)

金嶺裕さん(荒川区立汐入小学校)▽網野竣太さん(荒川区立第五峡田小学校)▽平野美海さん(荒川区立第五峡田小学校)▽真下未華子さん(板橋区立三園小学校)

【佳作】

(品川区立日野学園)

井上麻里奈さん(荒川区立峡田小学校)▽王斐瑩さん(荒川区立瑞光小学校)▽真砂名月さん(青梅市立第一小学校)▽鈴木瑞夏さん(荒川区立第五峡田小学校)▽森泉千鶴さん(青梅市立新町小学校)▽榊大駆さん(青梅市立若草小学校)▽遠藤佳歩さん(足立区立保木間小学校)▽高橋杜優子さん(世田谷区立船橋小学校)▽山坂幸太郎さん(八王子市立清水小学校)▽青木はじめさん(中野区立西中野小学校)▽秋葉紗那さん(国分寺市立第一小学校)

【東ト協会長感謝状】

(運輸安全委員長賞)

庄司碧馬さん(中央区立泰明小学校)▽菊地あいりさん(江東区立北砂小学校)▽川崎恵吾さん

協 点呼支援機器の普及促進へ 10万円を上限に導入費助成

3年度 方法・書類など詳細は、東ト協ホームページを参照。

全日本トラック協会 全ト協

は、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。 全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。 全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。

全日本トラック協会 協会の協賛により、令和3年度「点呼支援機器等導入促進助成事業」を実施し、導入費用の一部を助成することに より普及促進を図る。



東ト協で申請受付 4年2月28日まで

東ト協で申請受付 4年2月28日まで

東ト協で申請受付 4年2月28日まで



東ト協 重量品専門部会

経営者研修会

新特車制度などテーマに

東ト協重量品専門部会(内宮昌利部会長)は11月17日、東ト総合会館で令和3年度「経営者研修会」を開催し、今年度重点テーマとして「新特車制度」を取り上げ、関係者から意見を聴き、今後の対応について話し合った。研修会では、講師の磯司郎氏が「大型・特種車両に係る最新の法令・通達改正状況について」と題して講演。氏は、平成31・令和元年以降の関係法令・通達の改正状況などについて解説。来年4月1日から施行される新特車制度(限度超過車両の新たな通行制度)や、同年5月13日から施行される道路交通法施行令の改正(制限外積載の緩和)の内容などについて説明した。新特車制度では、電子データ処理により車両の登録、経路の検索(申請)、通行(通行経路および積載重量の記録)の手續きが即時許可となるもの。ただし、電子データ化されていない道路を通行する場合もあることか、当面、現行の通行許可制度と併用して運用される。

A I で配車計画作成 効果検証へ実証事業

東京都・東ト協 効果検証へ実証事業

東京都と東ト協はこのほど、貨物自動車からのCO₂排出削減をさらに推進するため、中小貨物運送事業者向け「AIによる配車計画の最適化」技術を導入し、その効果を検証する実証事業を開始した。 同事業は、CO₂削減に貢献する物流の効率化に向けた取り組みとして、都「貨物輸送評価制度」の評価取得事業者者に配車計画最適化ツールを導入し、将来的に中小貨物運送事業者への普及を図ることを目的に行うもの。 なお、同事業は、東ト協ではグリーン・エコプロジェクトにおける物流DX(デジタルトランスフォーメーション)事業として、実施するもの。

運長 東支局 Gマーク事業所表彰

東京運輸支局は11月18日付で、令和3年度「安全性優良事業所東京運輸支局長表彰」を行い、東京都トラック協会関係では36事業所が受賞した。表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を自粛し、表彰状は東支局事務局長と受けた上、各受賞事業所に直接持参して贈呈する予定。

今年度の受賞事業所は、次の通り。

東ト協関係 36事業所が受賞

- 日運運輸倉庫本社営業所
- ▽SSBSロジコム関東世田谷支店▽同向島支店▽東江運輸本社営業所▽竹内運輸工業羽村営業所
- ▽丸勝運輸本社営業所▽吉田組本社営業所▽アイエムエクスプレス本社営業所
- ▽丸勝運輸本社営業所▽晃和本社営業所▽ヤマタネロジステイクス立川営業所▽多摩総業本社営業所▽日本郵便輸送中野営業所▽アースカーゴ東京支店▽多摩運送東京辰巳営業所▽プライム物流本社営業所▽ファースト・ロジステイクス小平営業所▽三陸運送本社営業所▽若林運送東京支店▽カンダリテールサポート東京CSセンター▽SGムービング西東京営業所▽丸和通運隅田川支店▽サンエー物流昭島営業所

▽東京港運送昭島営業所▽井門サービス大森営業所▽ウエルストーンエクスプレス本社事業所▽東京三友品川営業所▽ロードラン

ナード並営業所▽東昌運輸昭島営業所▽ヤマタネロジステイクス大井埠頭営業所▽佐川急便城西営業所▽成増興業本社営業所

モト エコドライブ 証と優良認定証が各1社に授与された。

エコ財 活動コンクール 上位入賞者の表彰式が各1社に授与された。

交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)はこのほど、2021(令和3)年度「エコドライブ活動コンクール」の入賞者として、国土交通大臣賞(事業部門)・環境大臣賞(一般部門)各1件、優秀賞7件、優良賞35件、審査委員長特別賞1件を決定した。

国交大臣賞は国際自動車T1が受賞。トラック運送関係事業者のうち、都内事業者では3社が優良賞を受賞。優秀認定

トラック運送 都内3社に優良賞

「優良賞」古川商事運輸本社営業所・相川運送本社・SBSロジコムロジステイクス輸配送二課

「優秀認定証」ロジパルクエクスプレス(優良認定証)東京共同ロジテム本社営業所

は、次の通り。

違反車に措置命令出す 首都圏で合同取り締まり

結果、計測車両13台のうち

国土交通省や道路管理者、高速道路会社などで構成する「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」(事務局II国交省関東地方整備局)は11月9日、重量超過など違反車両の「首都圏大規模同時合同取締り」を行った。

同協議会の道路管理者が中心となり、関係警察や運輸支局が連携し、全7か所を取り締まりを実施した。このうち措置命令は、制限値20tを3・0t超過する車両総重量23・0tの車両に発出したもので、高速道路外への排出措置を命令した。このほか、道路運送車両法違反(不正改造など)の車両1台に整備命令を発令した。なお、同日は大雨などのため、取り締まりを予定していた21か所のうち14か所で中止した。

警察庁 交通事故統計 10月末累計

警察庁の交通事故統計(10月末累計)によると、事業用貨物自動車・第一当事者の死亡事故件数は168件で、前年同期比36.8%増加、増加傾向にある。

月別の推移(事業用貨物車全体)をみると、7月からは4か月連続で前年同月より多く、増加傾向にある。

車種別では、最も多い割合を占める大型車は93件で同3件(3.1%)減少し、準中型車も24件で同3件(11.1%)減少している。

なお、一般車を含めた全体の死亡事故件数は2057件で、前年同期比15.5%減少している。

事業用貨物車死亡事故1・8%増 7月から連続で増加

違反別 営業用トラック関与の交通事故

違反別	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折		その他	計
									右	左		
大型	1	84	43	19	10	0	13	4	0	0	50	223
関与事故件数	83	36	21	10	0	8	4	0	0	0	99	261
(前年比)	+1	-1	+2	+7	±0	+1	-2	±0	±0	±0	+1	+9
中型	1	57	57	23	8	0	8	3	0	0	40	196
関与事故件数	59	49	30	8	0	7	2	0	0	0	84	239
(前年比)	-9	+4	+5	+2	-2	±0	-1	±0	±0	±0	+3	+2
発生件数	1	108	52	29	8	3	15	8	0	0	84	307
関与事故件数	108	52	28	8	3	12	8	0	0	0	164	393
(前年比)	-11	-45	-20	±0	+2	+1	±0	±0	-2	+7	-68	-68
普通軽	1	343	127	151	25	12	41	19	2	0	153	873
関与事故件数	361	123	189	25	12	41	20	3	0	0	408	1,182
(前年比)	+58	-16	+24	-7	-3	+5	+7	-1	-1	+19	+85	+85
合計	1	592	279	222	51	15	77	34	2	0	327	1,599
関与事故件数	611	260	278	51	15	68	34	3	0	0	755	2,075
(前年比)	+39	-58	+11	+2	-3	+7	+4	-1	-3	+30	+28	+28
死者数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
大型貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
準中型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
普通・軽貨物車(1当)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3

注：営業用貨物車の関与事故件数は、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。 ※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

「青だけど 車は私を 見てるかな！」

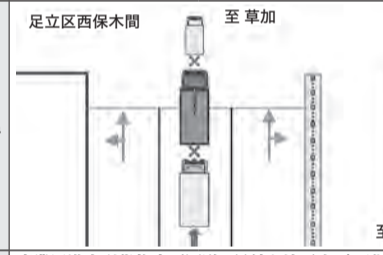
令和3年10月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は22,094件で、前年同期比1,501件増加し、死者数は100人で前年同期比12人の減少となった。

営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は2,075件で、前年同期比28件増加し、死者数は8人で前年同期比3人の減少となった。


事故類型別では、右左折時の車両相互事故が265件で、前年同期比3件増加し、死者数は1人だった。

違反別では、安全不確認による関与事故件数が611件で、前年同期比39件の増加となっている。

◎運行中は前方および周囲の状況に注意を払い、先行車との十分な車間距離をとって走行すること。また、漫然と運転をしないよう常に緊張感を保つこと。

日時	11月4日(木) 9時38分頃発生(晴天)
場所	足立区内(国道4号下り)
当事者	事業用準中型貨物車(男性60代死亡)×自家用中型貨物車(男性50代)×自家用軽貨物車(男性20代) <small>軽貨物は過大の積載を介しての追突と見られる。</small>
状況	足立区西保木間 至草加  至北千住
概要	事業用準中型貨物車が国道4号線を埼玉方面に進行中、前車が交差点で信号停止中の際に後方から追突したものの、

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通環境課 ☎03-3359-3618 ※事故速報は東支局ホームページでPDFデータも掲載しています



健康起因事故 防止マニュアル

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL: 03-5337-1754
MAIL: anzen@kankokyo.or.jp

健康起因事故 防止マニュアル

関交協では運送事業者の皆様とともに、交通事故削減を課題とし、様々な事故防止支援を行っております。近年、運転者の健康状態に起因する事故が増加傾向にあることから、事故に至る前に健診結果等を活用し、運転中に発症に至るリスクをできるだけ低減する取り組みが必要と考え、マニュアルを作成しました。

運行管理者の皆様にご一読いただき、事故防止にご活用いただければ幸いです。

●トラックの自動車事故損害賠償と交通事故防止●
関東交通共済協同組合

表彰関係従事者表彰

陸運局長

東ト協関係4氏に栄誉

関東運輸局は11月12日付で、令和3年「陸運及び観光関係従事者表彰」を行った。受賞者は陸運・観光関係10事業部門合計で233人。このうち東京都トラック協会関係者は、トラック部門(中間管理者)と運行管理者部門を合わせて4氏が受賞した。

受賞者は、安藤一昭(ふそう運搬社・足立)と運行管理者部門(中間管理者)の2氏。陸運関係は、上村章(渥美運輸・中央)▽川島尚恵(シンコー)▽栗田正広(東京荒井清運送・葛飾)▽「運行管理者」の2氏。

従事者・適正化表彰 東ト協関係4氏が受賞

東京運輸支局は11月18日付で、令和3年「陸運関係従事者、地方貨物自動車運送適正化事業実施機関指導員永年功労東京運輸支局長表彰」を行った。受賞者は6部門合計で65人。このうち東ト協関係は陸運関係従事者2氏、適正化指

表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を自粛し、郵送により各受賞者へ表彰状を贈った。東ト協関係の受賞者は次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・支店名)。

陸運関係従事者
戸田浩(丸中・中央)▽花松高広(興真運送・板橋)

適正化指導員
栗原貴志(東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関)▽山形享秀(同)

電動車の普及加速へ 開発・実装計画策定

経済産業省は11月11日、「次世代蓄電池・次世代モーターの開発」プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画を策定した。

自動車の利用段階におけるCO₂排出削減には、自動車の電動化が不可欠だが、蓄電池・モーターなどの電動パワートレインの容量・重量が要因となり、車両の積載能力の低下や航続距離が制約される問題がある。また軽車両や大型車など、電動化が難しいモビリティ領域が存在する。

そこで、計画では電動車の開発・普及を加速化させるため、蓄電池・モーターの高性能化などに、関する研究開発を行い、自動車分野の脱炭素化と産業競争力強化の実現を目指す方針。

具体的には、①高性能蓄電池・材料の研究開発(航続距離などに影響するエネルギー密度が現在の2倍以上など)、②蓄電池のリサイクル関連技術



目標に向けて、NEDOに「グリーンイノベーション基金」を造成。この基金により実施する各分野のプロジェクトについて、産業構造審議会グリーンイノベーションプロジェクト部会の分野別ワーキンググループで審議した上で、担当省庁が計画を策定し、実施企業などを公募することにした。

実施企業などに対しては、2030年までの10年間、研究開発・実証から社会実装まで継続して支援する。

東日本旅客鉄道 (JR東日本)は、トラックなど自動車と鉄道衝突事故が、東京都内では特に品川・大田区で多発していることから、高さ制限など確認を

年間約100件も発生。特に品川・大田区で多く、なかでもJR東海道線と道路が交差する鹿島谷ガード(制限高2.4m)や大佛ガード(同3.6m)や新井道ガード(同2.4m)で、トラックによる衝突事故が多い。

こうした衝突事故では、運転者の負傷ばかりでなく、車両や積み荷の損傷、さらに鉄道橋の損傷など多大な被害が生じる。

そこで、JR東日本では、これらガード付近を通行するトラック運送事業者などへ、衝突事故防止の啓発活動を行う。

京王線・障害事件で テロ対策徹底を要請

国土交通省自動車局はこのほど、全日本トラック協会などに対し、「テロ対策の徹底について」を通知し、トラック運送事業の安全確保の観点から、事業者が周知・徹底するよう求めた。

10月31日に京王線内で発生した傷害事件を受けて、改めてテロ対策の徹底を通知した。

国土交通省自動車局は、トラック事業におけるこのほど、全日本トラック協会などに対し、「テロ対策の徹底について」を通知し、トラック運送事業の安全確保の観点から、事業者が周知・徹底するよう求めた。

10月31日に京王線内で発生した傷害事件を受けて、改めてテロ対策の徹底を通知した。

3年度 第2回 運行管理者試験 (貨物) CBT試験

4年2月19日～3月20日

(書面方式の筆記試験は行わない)。実施概要は次の通り。

▽試験日時
4年2月19日～3月20日(試験会場などの予約に際し、希望する日時を選択)

▽試験地・受験会場
全国47都道府県の試験会場で受験が可能(会場・日時を予約する際に選択)。

▽受験資格(貨物試験)
①貨物または旅客自動車運送事業の実務経験者
②試験日の前日において、自動車運送事業(軽貨物自動車運送事業を除く)の用に供する事業用自動車または特定第二種貨物利用運送事業者の事業用自動車(緑ナンバー)の運行の管理に、1年以上の実務の経験を有する者

▽受験申請方法
新規・再受験ともインターネット申請(パソコンまたはスマートフォンから申し込み)

▽受験資格(貨物試験)
①貨物または旅客自動車運送事業の実務経験者
②試験日の前日において、自動車運送事業(軽貨物自動車運送事業を除く)の用に供する事業用自動車または特定第二種貨物利用運送事業者の事業用自動車(緑ナンバー)の運行の管理に、1年以上の実務の経験を有する者

▽受験費用
①受験手数料1600円(非課税)
②インターネット申請利用料1100円(新規申請660円(税込)、システム利用料・再受験申請860円(税込)、システム利用料・事務手数料)
③試験結果レポート(希望者のみ)1100円(希望者のみ)1400円(税込)手数料1400円(税込)

▽試験結果発表日
4年4月6日(予定)

詳細は同センターホームページを参照。

向動ファイル

10月分

●国土交通省、大型車の冬用タイヤへの交換時期を迎え、令和3年度緊急対策として「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」(4年2月末まで)を開始する(1日)

●経済産業省と国交省第1回「フィジカルインターネット実現会議」を開催する。物流にインターネット通信の考え方を適用し、徹底した物流効率化の推進に向けて、新しい仕組みの構築を目指すもので、そのロードマップ策定などを目的に設置する(6日)

●東京都トラック協会、Web上で「トラックフェスタ TOKYO 2021 Online」親子で体験「安全と環境 ウイズコロナからアフターコロナに向けて」を開催し、YouTubeでオリジナル動画を公開する(9日)「トラックの日」から

●関東トラック協会、「関東圏における自動車事故防止対策検討会」を開催。当面の重要課題として飲酒運転防止のたため、運転者教育用の事業者向け資料作成・活用などの対策を決める(11日)

●経済産業省、大企業と中小企業が共存共栄できる関係構築を目指す「パートナーシップ構築宣言」の宣言企業数が2110社に増え、当面の目標2000社達成を発表する(19日)

●東京労働局、東ト協と陸上貨物運送事業労働災害防止協会東京都支部会に対し、「陸上貨物運送事業における労働災害防止に向けたより一層の取り組みについて」を要請する(22日)

●東ト協、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時における交通対策への協力により、東京都の小池百合子都知事と東京2020大会組織委員会の橋本聖子会長連名による感謝状を受領する(26日)

●政府、「地球温暖化対策計画」と「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を閣議決定する。「2050年カーボンニュートラル」実現に向けて、2030年度に温室効果ガス46%削減(2013年度比)などの新たな目標を踏まえ、計画を改訂する。運輸部門の目標はCO₂排出量35%削減に設定(22日)

●軽油店頭価格、1L当たり147.1円と8週連続で値上がりし、140円台後半まで上昇。以後もガソリン価格とともに価格高騰が続く(25日時点)

●九都府市首脳会議、今年6月に千葉県で起きた飲酒運転の自家用トラックによる小学生死傷事故を踏まえ、第80回首脳会議で「飲酒運転根絶に向けた共同宣言」を行い、東京都など九都府市が一丸となって対策を強化し、根絶に取り組むことを表明する(25日)



申請受付 12月13日～4年1月19日

大名気分で庭園の紅葉散策

紅葉シーズン真っ盛り。最近の秋の季節が短いような気がするが、この季節感を旅気分とともに味わおうと、小石川後楽園(国の特別史跡・特別名勝)へ。江戸の大名庭園として有名な池を中心とした回遊式築山泉水庭園で、東京ドームの近くにある。



唐門

「ちの御庭」と呼ばれていた。唐門を背に歩き始めると、京都への旅が始まる。木曾川・寝覚の滝を過ぎて木曾路を抜けると、琵琶湖に見立てた大泉水。右手に竹生島を見て紅葉林を愛でれば、京都は大堰川にかかる渡月橋。

渡月橋の南側は中国の西湖を写したもので西湖堤が広がり、上手に日本の景色の中に溶け込ませている風情に感心する。紅葉の嵐山の景色はいかばかりかと思いをはせていると、音羽の滝、そして紅葉の名所として名高い東福寺の通天橋に至る。

屋根付きの木橋である通天橋は、紅葉シーズンで大人気の場所。臥雲橋から通天橋を望む景色は天下の絶景といわれている。今頃、臥雲橋では写真撮る人があふれている。



渡月橋

京都を過ぎると、中国への海外旅行の気分だ。光圀の好みの景観が現れる。得仁堂には、光圀が感銘を受けたという伯夷叔斉の木像を安置し、朱舜水の設計といわれる円月橋はしつかりとした石橋で、水面に映る姿で円満(満)月を形作る。得仁堂とともに、当時の姿をとどめている貴重な建造物だといえる。

小石川後楽園の「唐門」が復元

真を撮るために人が動き、整理の人が「立ち止まらないでください」と声を上げてくださると想像しつづける。

後楽園の太鼓橋は朱塗りで、溪谷にかかる紅葉の趣を感じられよう。

水戸の学問に影響を与えた、朱舜水の指導で中国の景勝地などの景観を取り入れている。さて、庭園散策は当時の雰囲気を見立てるため「唐門」からスタート。唐門は、東京都が進めている震災や戦災で失われた文化財庭園の建物などの復元整備事業の一つとして復元された。昨年12月から公開された。小石川後楽園では、これまで各所で復元工事が行われているが、唐門は2019(平成31)年から復元が進められた。

唐門は本殿(内庭)と後楽園を結んでおり、招待された代々の将軍や諸大名たちは、内庭から唐門を通って後楽園に入っていた。その気分を味わおうと通ってみた。内庭は水戸藩邸の書院の庭で、江戸時代には「う



通天橋

様々な仕掛けを楽しみながら

坂を上り下りして行くと、あと数か月もすれば観梅の人であふれるにちがいない有名な梅林へ。その先に風雅の橋がある。カキツバタの池に掛けられている木橋の八つ橋で、歌心があればと、錦秋の中で庭園巡りを終える。

ポケット

私は通い続けて25年ですが、初めて食べた時、脂っこさに閉口し、普通盛りなのに胃がはちぎれそうでした。味も「並ぶほうどうまいのか?」と思ったりしましたが、パンチ力は強烈で



ラーメン三郎の魅力

ラーメン三郎に行ったら中心にのれん分け店が約40店舗あり、さらに「インスパイア系」と呼ばれる、ラーメン二郎風のラーメンを出す店もたくさんあります。分厚いバラ肉チャーシュー、山盛りのもやしやキャベツ、背脂たっぷりのスープに太い麺。どんぶりがカウンターに置かれる前に「ニンニク入れますか?」と聞かれるのもお決まり。以前は、よれよれの白いTシャツ姿で厨房の真ん中に立ち、常に湯切りをしなが



「中日西国の首都である東京都と北京市は、姉妹友好都市関係を締結しており、中野・目黒・練馬・葛飾・北・新宿・板橋・墨田・大田の各区が北京市の各区と友好交流都市となつていきます。

来年は北京五輪 初の夏冬同都市開催

来年、中華人民共和国・北京市で2022冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。東京2020大会の延期により、2年連続での開催となります。

北区と友好交流10年

このうち、東京都北区と北京市西城区が2011年に友好交流合意書を締結してから、今年で10年の節目を迎え、国際交流を深めています。

【北区役所】 住所：北区王子本町1-15-22



目 息苦しさから解き放された気分がしなくもない。そのせいだろうか、気持ちの上では新たなものの取り組みをしてみたいという、感じになつてきた。重々しい気分が何となく晴れてきた。そう思うのは自分だけかと自問自答してみるが、世間的にも概ねそう感じだろう。やはり雰囲気が変わつてきた。この前まで「コロナ、コロナ」で、息が詰まる雰囲気だったことを思うと、世の移り変わりは早いと感じざるを得ない。同様に世界の様相も大きく変わりつつあるようだ。一触即発と思える場面ですら、双方がこらえて相手と話し合う姿勢が見受けられ、幾分なりとも相手の立場を認めようという姿勢が出つつある。そうでないと、取まらつかない事態にもなる今日の状況であれば、それは苦渋の選択とでもいえようか。過去に衝突の歴史を経験した者ほど、その恐ろしさを知っている。国同士の争いとなれば、国が亡ぶほど厳しい。過去の歴史や様々な経験から、厳しい状況を知ることが最も賢明な生き残りの方法になつてくる。